

平成14年「都民のくらしむき」

概 要

平成14年はサッカーW杯が開催され、7月から猛暑となった。秋には、小柴、田中両氏のノーベル賞受賞が報道され、12月に授賞式が執り行われた。

平成14年の全国の消費は、前年に比べ名目では0.8%減少したが実質では0.3%の増加となった¹⁾。実質国内総生産（GDP）は前年に比べ0.2%の増となり²⁾、消費者物価は1.1%下落した³⁾。全国企業倒産件数は3年連続で増加となり、バブル崩壊後では最大、戦後では2番目の倒産件数となった⁴⁾。

東京都の状況を見ると、勤労者の給与は、現金給与総額が前年に比べ名目で0.9%減少したが、実質では0.1%の増加となった⁵⁾。完全失業率は5.6%となり、前年に比べ0.4ポイント上昇した⁶⁾。

平成14年の都民の家計収支の特徴は次のようになった。世帯収支の動向については、4頁以下を参照されたい。

家計収支の特徴

1 全世帯

住居費負担が特に大きい都民の消費構造

都民の消費支出の10大費目を全国を1として構成比どうしで比較すると、次頁図1のような形となった。このように、都民の消費支出は、全国に比べ住居支出が非常に高いという事がみえてとれる。この特徴は、10年前と基本的に変わっていない。また、教育の支出が高いのも都の特徴であるが、これは10年前と比べて低下している。

交通・通信とその他の消費支出については全国と比べて低く、これも都の特徴とみることができる。交通・通信では自動車等関係費、その他の消費支出では交際費の支出が低下に寄与している。（自動車等関係費については16頁、その他の消費支出については30頁を参照）

表1の は、食料の中分類項目を構成比で全国と比較してみたものである。都では、穀類、魚介類、肉類、油脂・調味料など家庭で調理する項目の支出割合が低く、外食の支出割合が高い。

1) 家計調査報告（二人以上）平成14年平均速報結果（総務省）

2) 四半期別GDP速報 平成15年5月（内閣府）

3) 平成12年基準消費者物価指数 全国（総務省） 持家の帰属家賃を除く総合。

4) 2002年報 全国企業倒産（帝国データバンク）

5) 東京都の賃金、労働時間及び雇用の動き - 毎月勤労統計調査地方調査結果月報（総務局統計部）、事業所規模5人以上。現金給与総額は、「きまって支給する給与」と「特別に支払われた給与」の合計。

6) 東京の労働力 労働力調査地方集計結果（総務局統計部）

図1 都の消費支出の10大費目(全世帯)

(特化係数 全国 = 1)

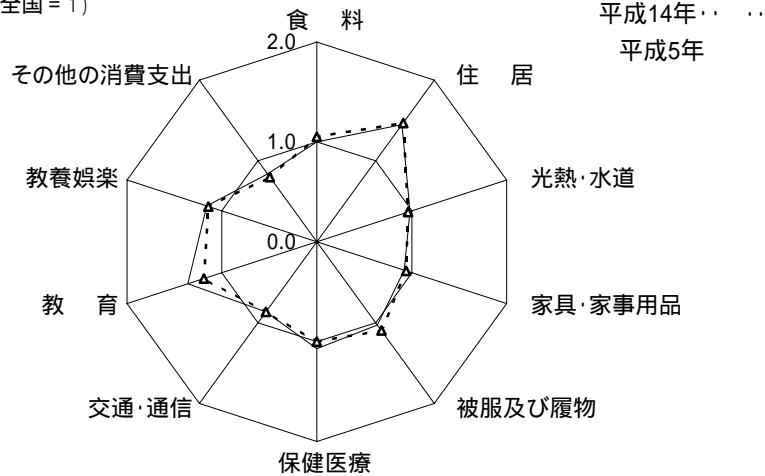


表1 特化係数 - 1世帯当たり年平均1か月間の消費支出(全世帯)

項目	平成14年			平成5年			食料(平成14年)	
	構成比(%)		特化係数	構成比(%)		特化係数	項目	特化係数
	都	全国		都	全国			
消費支出	100.0	100.0	1.0	100.0	100.0	1.0	食料	1.00
食料	24.5	23.3	1.1	24.2	24.3	1.0	穀類	0.95
住居	9.7	6.6	1.5	8.1	5.6	1.5	魚介類	0.94
光熱・水道	6.6	6.9	1.0	5.6	5.7	1.0	肉類	0.93
家具・家事用品	3.2	3.4	0.9	3.4	3.7	0.9	乳卵類	0.98
被服及び履物	5.3	4.8	1.1	6.9	6.7	1.0	野菜・海藻	1.05
保健医療	3.8	3.8	1.0	3.1	2.9	1.1	果物	0.98
交通・通信	10.3	11.9	0.9	8.6	9.9	0.9	油脂・調味料	0.88
教育	5.0	4.2	1.2	6.1	4.5	1.4	菓子類	0.97
教養娯楽	11.5	10.1	1.1	11.6	10.0	1.2	調理食品	0.97
その他の消費支出	20.0	25.0	0.8	22.4	26.7	0.8	飲料	1.00
							酒類	0.94
							外食	1.17

資料：全国は家計調査報告(二人以上の世帯)(総務省)

2 勤労者世帯

30歳未満の世帯：家賃負担

収入：405,954円 支出：256,401円

次頁の表2によれば、30歳未満の世帯の消費支出は他の年齢階層に比べ少ないが、住居支出については最も多くなっている。この世帯では住居支出のうち家賃地代が99.3%である。30歳の世帯は他の費目で全般的に支出が少なく、家賃地代負担の影響が考えられる。

30歳代の世帯：自動車購入

収入：559,748円 支出：318,677円

30歳代は、世帯人員が最も平均に近い。勤労者平均と比べ収入は4.4%少ないだけだが、消費支出は11.9%も少なく、多くの費目で節約的な姿勢が感じられる。しかし、交通・通信の支出は多く、そのなかでは自動車等の購入と維持の支出が多い。

40歳代の世帯：教育・住宅ローン

収入：689,796円 支出：396,179円

40歳代は世帯人員が最も多く収入も他の年齢階層よりも多い。しかし、支出については50歳代より少ない。40歳代は、住宅ローンの返済額が多く、収入に対する比率は9.7%となっている。また、教育の支出も多く、多額のローンを負担しつつ子育てをしている。

50歳代の世帯：比較的余裕

収入：674,605円 支出：408,101円

住宅ローンの収入に対する比率は、40歳代は9.7%であるが、50歳代では5.2%に低下している。50歳代の世帯は、40歳代に比べ世帯人員は少なくなっているが、支出は増加している。費目では「その他の消費支出」が大きく増加している。ここには、美容などの諸雑費の他、こづかい、交際費などが含まれている。また、被服及び履物の支出も多い。どちらも嗜好的で選択的な品目の多い費目であり、勤労者の50歳代は、40歳代以下の世帯に比べ余裕が感じられる。

60歳以上の世帯：リフォーム

収入：356,786円 支出：347,629円

勤労者で世帯主が60歳以上の世帯は、50歳代からみると収入が大きく減少している。世帯人員も少なくなり、消費支出も多くの費目で減少しているが、住居、保健医療などの支出は増加している。住居の支出は、30歳未満の世帯を最大として年齢階層があがるにつれ減少してきたが、この60歳以上の世帯で再び増加している。これは住宅の修繕・維持（リフォーム）であり、50歳代後半からそうした動きとなっている。保健医療の支出は、全体を通じ最大となっている。

3 無職高齢者世帯

収入：246,804円 支出：265,028円

無職高齢者世帯は、勤め先がなく主に年金が生活の基礎となっている世帯であり、退職した勤労者のほか自営の事業から身を引いた世帯などが含まれている。

この世帯は、消費支出が実収入を上回っている。実収入以外の収入である預貯金引出や保険取金、有価証券売却などにより不足額を補っていると考えられる。

表2 1世帯当たり年平均1か月の収入と支出（勤労者世帯、無職高齢者世帯・平成14年）

- 1 第19表より作成。年齢区分は5歳階層を世帯数分布を用いて加重平均の方法で算出した。無職高齢者世帯は第31表による。
- 2 収入は、勤労者は勤め先収入（ボーナスや配偶者等の収入も含まれる。）、無職は年金等の実収入である。
- 3 土地家屋借金返済は、過去の購入時に借用したローンの返済額で実支出以外の支出に区分している。
- 4 無職高齢者世帯は、夫が65歳以上で、妻60歳以上の夫婦のみの世帯又はこれに18歳未満の子が加わった世帯である。

区 分	勤労者世帯						無職 高齢者 世 帯
	平均	世帯主 30歳未満	世帯主 30歳代	世帯主 40歳代	世帯主 50歳代	世帯主 60歳以上	
世帯人員 (人)	3.40	2.77	3.42	3.97	3.46	2.53	2.09
世帯主平均年齢 (歳)	46.5	27.3	35.6	44.8	54.9	65.2	74.6
収 入 (円)	585,274	405,954	559,748	689,796	674,605	356,786	246,804
消費支出 (円)	361,608	256,401	318,677	396,179	408,101	347,629	265,028
食料	82,066	51,786	70,201	94,969	91,765	79,385	69,989
住居	36,974	59,177	43,124	31,747	31,509	33,321	27,333
光熱・水道	21,520	14,144	18,127	23,879	24,679	21,687	18,954
家具・家事用品	11,594	8,230	11,024	12,211	12,321	11,896	9,584
被服及び履物	19,500	12,846	16,811	21,351	23,090	17,808	10,365
保健医療	12,016	11,157	12,410	10,558	11,825	14,628	15,507
交通・通信	40,584	31,102	45,158	42,625	40,093	33,026	21,445
教育	23,128	3,288	10,972	43,256	33,146	2,105	79
教養娯楽	41,134	23,650	38,538	48,679	43,696	36,676	30,780
その他の消費支出	73,093	41,020	52,311	66,904	95,976	97,087	60,991
土地家屋借金返済	43,231	11,258	32,310	66,683	34,803	58,332	3,489